

1 組織

- (1) 都立南葛飾高等学校 学校運営連絡協議会（全日制課程）
- (2) 事務局の構成 総務主任＝事務局長、総務部員 1名 計2名
- (3) 内部委員の構成員
校長、副校長、経営企画室長、主幹教諭(教務担当)、主幹教諭（生活指導担当）、主幹教諭（進路指導担当）、
総務部主任
- (4) 協議委員の構成
保護者代表2名、近隣中学校長1名、葛飾区教育委員会1名、地域住民代表1名、同窓会代表2名 計7名

2 令和元年度学校運営連絡協議会の概要

- (1) 学校運営連絡協議会（第1～3回）の開催日時、出席者、内容、その他
 - 第1回 令和2年8月27日（金） 新型コロナウイルス感染症拡大防止に係り書面開催
内部委員7名 協議委員6名
協議委員委嘱、協議委員紹介、評価委員の選出、学校経営計画、昨年度の学校運営連絡協議会の課題、本校の現状と課題（各分掌の主任より）、意見交換
 - 第2回 令和2年11月9日（火） 新型コロナウイルス感染症拡大防止に係り書面開催
内部委員7名 協議委員6名
いじめ等防止基本方針の説明、これまでの教育活動に関する報告（各分掌の主任より）
学校評価の基本方針の検討、協議、意見交換
 - 第3回 令和3年2月16日（火） 新型コロナウイルス感染症拡大防止に係り書面開催
内部委員7名 協議委員6名
これまでの教育活動に関する報告（各分掌の主任より）、学校評価アンケートの実施結果・分析に関する報告、学校運営に関する提言、協議
- (2) 評価委員会の開催日時、会場、出席者、内容、その他 書面開催
 - 第1回 令和2年8月27日（金） 書面開催 内部委員2名 協議委員6名
学校評価の基本方針の確認、昨年度の学校評価実施結果・分析に関する報告と検討
 - 第2回 令和2年11月9日（火） 書面開催 内部委員2名 協議委員6名
学校評価アンケートの評価項目の検討、学校評価実施に関する日程の検討
 - 第3回 令和3年2月16日（火） 書面開催 内部委員2名 協議委員5名
学校評価アンケートの実施結果・分析、学校評価結果報告資料の確認

3 学校運営連絡協議会による学校評価

- (1) 学校評価の観点
「学校への理解」「学校への意欲」「学校への実践」の観点で実施する。
- (2) アンケート調査の実施時期・対象
 - ・12月 全校生徒 672人 回収：647人 回収率：96%
 - ・12月 保護者全員 659人 回収：294人 回収率：45%
 - ・12月 教職員 43人 回収：43人 回収率：100%
- (3) 主な評価項目
 - ・学校運営、学習指導、生活指導、進路指導、学校行事等の特別活動、ホームルーム活動などの評価項目を、学校の実態に合わせて設定する。
- (4) 評価結果の概要（ ）は平成31年度←平成30年度←平成29年度
 - ①6年間同一の質問項目（一質問増）にして、学校生活の満足度を経年の比較ができるようになった。
 - ②「学校生活は、楽しく、充実していますか？」についての肯定的な割合は、生徒で90.7%（87.4%←88.4%←84.5%）、保護者で91.0%（92.2%←93.2%←89.4%）とおおむね肯定的な割合がみられる。学年ごとに割合を見ると、1年で94.4%（91.0%←87.7%←84.9%）、2年で85.1%（89.8%←86.1%←85.1%）、3年で92.5%（81.2%←91.5%←83.2%）で、おおむね肯定的な割合がみられる。

③「服装指導、頭髪指導など身だしなみに関する指導を実施しているが、あなたは積極的に取り組んでいるか？」についての肯定的な割合は、生徒で92.1% (86.9%←90.6%←88.7%)、保護者で90.6% (89.2%←86.1%←85.9%) と積極的に取り組み、その状況を肯定的にみている。経年変化では確実に指導が定着していることがわかる。また、保護者から身だしなみの指導に対する期待がうかがえる。学年ごとに割合を見ると、1年で92.7% (90.5%←88.6%←90.3%)、2年で89.1% (86.6%←91.8%←87.5%)、3年で94.4% (86.1%←91.4%←88.4%) で、おおむね肯定的な割合がみられる。

④「ライフ・ワーク・バランス」の実現に取り組んでいることを知っているか。」についての肯定的な割合は、生徒で72.7%、保護者で59.6%であった。今後も、「ライフ・ワーク・バランス」に対する考え方や実践方法を生徒へ指導すること及び保護者への周知が必要であることがわかる。

(5) 評価結果の分析・考察

①ほとんどの質問で、前年度と比較して肯定的な割合が増加している。教職員が一丸となって生活指導・学習指導・進路指導等に取り組んできた成果である。新型コロナウイルス完成防止に係る学校行事等の中止をはじめ様々な学校教育活動の大幅な変更があったが、学年進行とともに学校に対する満足度が減少し、その結果として学習活動や特別活動がやや低調になってしまっている状況は十分に改善されていない。入学時の学校に対する期待感を維持・高揚させていく教育活動を今以上に作っていく必要がある。

②学校評価アンケートから、本校の組織的な生活指導は定着してきている傾向が読み取れる。引き続き、生徒・保護者から理解させる指導を継続して行くべきである。

4 学校運営連絡協議会の成果と課題

(1) 学校運営連絡協議会を実施して得られた成果

今まで地域における本校の役割（地区運動会への参加等）を理解し、地域に感謝される学校づくりが評価されてきたが、新型コロナウイルス完成防止に係る学校の中止や変更により評価自体が不明確となった。今後、新しい学習活動の取り組みを確立することが課題である。

(2) 学校運営連絡協議会を実施して明らかとなった課題

昨年のように本校側の評価から地域の方からも本校の生活指導が評価され、信頼を得ていると思われるが、新型コロナウイルス完成防止に係る学校の中止や変更により評価自体が不明確となった。今後、新しい生活活動の取り組みを確立することが課題である。

5 学校運営連絡協議会及び学校評価活動を活用した教育活動の改善

(1) 学校運営

地域の小・中学校との交流や区教委等との連携を進めていく。

(2) 学習指導

少人数指導・習熟度別指導を中心とした生徒一人一人に対応できる学習環境を維持し、学習に苦手意識を持つ生徒の学習意欲を高めていく。

(3) 生活指導

授業における携帯電話の使用禁止・服装指導を重点的に行い、地域の信頼を得るための実践を続けていく。

(4) 学校行事、ホームルーム活動等

地域の小学校との放課後指導や、部活動や地区運動会を通した相互交流をさらに深めていく。

6 「学校がよくなった」と考える協議委員の割合

(1) 協議委員人数 11人

(2) 学校がよくなったと答えた協議委員の人数

そう思う	多少そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	無回答
4	1					2

7 職員会議及び企画調整会議への協議委員の参加実績及び成果

【実績】 職員会議 参加なし 企画調整会議 参加なし

【成果】 次年度以降、参加に向けて検討する。

8 その他

今年度並みの応募者倍率を維持していくための取り組みを協議した。